



PDF



## 79 . リスアカネ *Sympetrum risi risi*



写真2-94 . リスアカネ . 北区山田町 . 1997.8.30. オスの静止 .

分布：神戸では、山間地帯や丘陵地の樹林に囲まれた、ごみごみしたような池によくそのすがたがみられますが、時には海岸や水田地帯へもあらわれます。記録は、北区道場町、有野町、淡河町、山田町、山の街、鈴蘭台、西区神出町、押部谷町、玉津町、櫛谷町、伊川谷町、名谷町、須磨区多井畑、妙法寺町、行幸町、中央区葺合町、港島中町、東灘区本山町などがあります。

生態：成虫は6月下旬からあらわれ始め、11月に入るまでそのすがたがみられます。あちこちでよくみかけますが、本種ばかりが多数集まっているようなところはあまり知られていません。他のアカトンボより早く、8月中旬には産卵行動をみています。産卵は[連結打空産卵](#)ですが、途中ではなれてオスの[警護](#)下での[単独打空産卵](#)に移行する場合があります。その際、オスは少しはなれた上空で[停止飛翔](#)をしています。本種の[打空産卵](#)は、[ナツアカネ](#)のそれよりかなり大きく体の上下運動をとまっています。幼虫は、生息地の池の、底に木の枝や枯れ葉がたい積したようなところでよくみつかります。

形態：腹長22～28mm。翅の先端部に黒かつ色の部分があるトンボの一つです。[ノシメトンボ](#)とは顔面に眉状の斑点がないこと、[コノシメトンボ](#)とは胸の側面の黒いもようで見分けられます。ただし、ときどき[コノシメトンボ](#)のように2本の黒条がつながったものがあり、この場合は、オスでは尾部[上付属器](#)の先端がはね上がっていないこと、メスでは[生殖弁](#)の先端が二またになっていないことで区別してください。

